



特定非営利活動法人地球温暖化防止ぐんま県民会議

温室効果ガス排出削減
重要性の情報提供と
行動変容促進を目指す



前橋市

住所 前橋市大渡町1-10-7 群馬県公社総合ビル6階
TEL 027-289-5944
Mail info@gccca.jp
URL https://www.gccca.jp/
代表者 養田 雅香
設立 2005年3月3日
従業員 6人

WEBサイト



企業紹介

県民及び事業所に対して地球温暖化・気候変動の原因となる温室効果ガスの排出を削減することの重要性について情報提供し、行動変容を促すことを使命として活動しています。個人に対しては出前講座・地域イベントやうちエコ診断、事業所に対しては環境GS認定制度の登録及び運用支援、無料の省エネ診断と省エネ・再エネ設備の導入支援などを行っています。

経緯・背景

本県のマイカー保有率は全国一で、運輸部門からのCO2排出割合が全国より10ポイント程度高くなっているため、公共交通や自転車を活用するスマートムーブやエコドライブの普及が課題となっています。

一方、日照時間は全国でも上位にあり、太陽光発電には好適です。森林伐採を伴うものではなく、家庭や事業所の屋根を活用する余地は大きく、その普及が課題です。また、高齢化・後継者不足による離農・耕作放棄地の増加が進む中、CO2の吸収・固定を図る意味でも里地里山の保全が課題となっています。

気候危機克服を使命とし 財政支援を求めつつ 啓発イベント等を開催

具体的な取組・成果

①スマートムーブの普及のため、2020年度に「群馬県スマートムーブ推進協議会」を立ち上げ、交通事業者、行政、交通需要者が一同に会して議論するとともに、県民向けに啓発イベント（映画会・フォーラム）を開催し、スマートムーブの意義を啓発してきました。また、自動車を使用せざるを得ない場面では、「エコドライブ」を行うことでCO2排出を抑制することができます。環境GS認定事業所に対してエコドライブ支援装置を貸し出すことで普及を図っています。



公共交通を利用して県内・近県を巡る体験ツアー開催

②個人に対しては、地域の出前講座や環境イベントを通じて脱炭素ライフスタイルの周知と行動変容を呼びかけてきました。今年度からは県事業として「うちエコ診断」を実施し、家庭における省エネを推進しています。また、太陽光発電についてセミナーを開催し、導入のメリット（環境・家計・防災など）を周知しています。県内の家庭用太陽光発電の普及率は13%程度となっており、普及の余地は大いにあると考えています。



環境イベントで脱炭素ライフスタイルをPR（伊勢崎）

③CO2の排出抑制と併せて、吸収源の拡大も重要です。高齢化・後継者不足により各地で耕作放棄地が

増えており、野生動物の住みかとなり、人や農作物に被害も発生しています。耕作放棄地の増加を抑制するため、営農を継続できるように都市生活者が支援する仕組みを構築するとともに、放置竹林を整備してCO2の吸収・固定につなげる取組を検討しています。



渋川の特別栽培農家でサツマイモ収穫支援

④緩和策によりCO2排出削減を進めても、脱炭素を達成するまでは気温上昇と気候変動が進み、猛暑・熱波・豪雨・干ばつなどの気象災害が激甚化することが予想されます。そうした事態に備える適応策も重要で、熱中症対策、感染症対策、洪水対策など、個人や組織として備えるべき適応策についても情報提供していきます。

当社にとってのSDGsビジョン

①必要なエネルギーを再生可能エネルギーでまかなえ、気温上昇に歯止めがかかり、気候変動が緩和されること。②公共交通や自転車など、環境負荷の小さい移動手段を誰もが安心して利用できる交通・道路環境の実現。③化石資源の過剰消費を減らし、バイオマス資源を効率よく活用し、廃棄物の発生を最小化する。

今後の展望と求めるパートナー像

当法人は中間支援組織として、気候危機を克服しようとする企業・行政・個人のパートナーシップを進める使命を担っています。NPO法人であるため、財政基盤は脆弱ですが、人的資源には恵まれており、気候変動対策に関するノウハウを必要とする個人・組織に貢献するため、財政的に支援してくれるパートナーを求めています。